



### ◆GMが十億ドルを投資 自動車工場の拡充工事に

カナダ最大の自動車メーカー、GM(ゼネラル・モーターズ)カナダ社は、七月はじめ、オンタリオ州オシヤにある工場の拡充工事に十億ドルを投資すると発表した。同社はその前に、セント・キヤリオンに新エンジン工場の建設を決定しており、今回の決定と合わせて、オンタリオ州における新たな投資額は約十二億六千万ドルに達する。

オシヤワでの投資の内訳は、トラック工場の拡充近代化に五億五千万ドル、車体ハネルなどを生産する超近代的な大型プレス工場建設に二億二千八百万ドル、発電所の拡充、第二車体組立工場、新塗装工場の建設などに二億二千二百万ドル、となっている。

この大規模投資により、カナダの自動車産業の国際競争力が高まり、自動車関連業界での雇用が大幅に増えるだけでなく、国内製鉄業界にも大きな需要をもたらすことになる。

なお、カナダでは最近、このGM社のセント・キヤリオンおよびオシヤワでの投資のほか、本田技研の組立工場建設(投資額一億下

### ◆麻薬探知犬が活躍 昨年は三千万ドル分も発見

ル、アメリカン・モーターズ社のオンタリオ州フランクフォードでの組立工場建設(投資額七億六千四百ドル)と、投資計画が相次いでいる。

一九八一年度、三百八十三件、一千万ドル以上。  
一九八二年度、三百三件、千五百万ドル。  
一九八三年度、二百四十五件、三千万ドル。

いずれも、カナダ税関の麻薬探知犬特別班が挙げたハロインやリアーナなどの麻薬事件の数と、その未端価格である。

摘発件数は減っているが、押収



空港で荷物を点検する探知犬。

された麻薬の量は大幅に増えていることが分かる。特に八三年は、一度に二千万ドル相当の麻薬がバシクバーで見つけられたため、金額が大きくなった。

麻薬探知犬特別班の犬は、いずれもカナダで訓練を受けたもので、その臭覚によつて、国境を渡る車のトランクや、飛行機や船、あるいは倉庫の中に隠された麻薬を発見するのが任務である。ときには銃器や爆薬の発見を探知することもある。右の数字は、特別班の成績がかなり良いことを示している。

・スチュワード氏とテリィ・テイゲン氏によると、どんな犬でも訓練は可能だが、最も適しているのはラック・ラホランドル。シエハートと比べて小さくて軽いので、トレーナーなどに運び入れるのが容易だし、性質が温かなので扱いやすいからだ。

### ◆「トリビアルゲーム カナダや米国で大人気

カナダをはじめ、米国やヨーロッパで大人気を呼んでいるゲームがある。ゲームの名は「トリビアル・パシユール」。直訳すれば、「つまらない追求(または楽しみ)」という意味である。

ゲームのやり方は簡単で、サイコロをころがして、地理、娯楽、歴史、芸術、文学、科学、自然、スポーツ、レジャーの六項目のうちひとつを選ぶ。各項目ごとに、

カードに書いた十項目の問題があつて、それに答えながらゲーム盤の上で駒を進めていくというもの。「つまらない追求(楽しみ)」といふのは、設問が瑣末なところからきている。

例えば「ペーカト通り二二B号に住んでいるのは誰?」「地球上で人間に次いで頭のいい生物は



トリビアル・ゲーム

?」「ヘリアルースは一九二七年に六十本のホームラン記録をつくつたが、それまでの記録保持者は誰?」(答へ順に、シヤロツク・ホームズ、イルカ、ペーカトル

ス本人)。「トリビアル・パシユール」を開発したのは、モントルオール、ガセット紙の写真部長クリス・ヘイニートカナダ通信社(CP)のスポーツ記者スコット・アボット。二人で考え出してつくつたこのゲームを、八一年の秋に試しに千二百セットを店頭に並べてみたところ、たちまち売り切れた。八二年の夏になると、トロントで「トリビアル・パシユール」ゲームが起り、八三年のクリスマスには

ヨーロッパでも人気を呼んでおり、ヘイニート氏によると今年の総売り上げは十億ドルに達するだろうといふ。

### ◆各州とも緩慢な景気回復 経済機関が来年の予測

カナダの有力な経済調査機関「コリアレンス・ボート・オブ・カナダ」が八月に発表した予測によると、カナダの景気は来年もあまり芳しくなさそうだ。

アルバータとブリティッシュ・コロンビアの両州は、今年より若干景気はよくなるものの、経済成長率は前年比でわずか一パーセントとどまり。オンタリオ州は自動車販売の伸びで不況から脱したものの、来年は新車の売れゆきが頭打ちとなり、マイナス一パーセントの成長率か予想される。ケベックでは林産、鉱業、製鉄業が国内および国際需要の低下で振るわず、またニューファンドランドでも同様の理由で景気がやや落ち込む。

消費の回復で現在二ないし三パーセントの成長をみているパハ・スコシア、ニュー・ブランズウィック、アトラス・エドワート・アライアンドでは、金利の上昇や所得の伸び悩みで景気は横ばいしよう。ロイドミンスターで重質油プロシエクトが始まるサスカチュワン州では一・六パーセントの成長が見込まれているが、今年第二位の成長率(三・九パーセント)を示しているアトハは、鉱業と製造